

## Anti human COUP-TF II mouse monoclonal antibody

COUP-TF II: Chicken ovalbumin upstream promoter-transcription factor II

製品コード PP-H7147-00

Clone No. H7147

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2F2

Genbank M64497

**由来** ヒトCOUP-TF II (43-64 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒト COUP-TF II に特異的に反応する。ヒトCOUP-TF I, EAR2 と反応しない。マウスおよびラット COUP-TF II と交差反応する。

**精製法** 硫酸塩析法

**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

**Western Blot** 可  
参考使用濃度 1  $\mu$ g/mL

**非還元 Western Blot** 未検討  
参考使用濃度 -

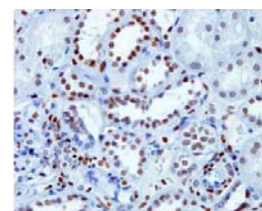
**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.1  $\mu$ g/mL

**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

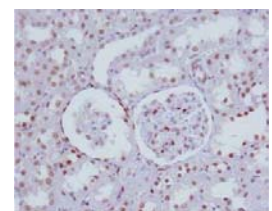
**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -

**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -

**免疫染色** 可  
参考使用濃度 10  $\mu$ g/mL



ヒト  
尿管  
パラフィン切片



ラット  
糸球体  
パラフィン切片

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Lee CT, *et al.* Mol Cell Biol., 2004; 24(24): 10835-43  
You LR, *et al.* Proc Natl Acad Sci USA. 2005; 102(45):16351-6  
Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol, 2006; 20(12): 3412-20  
Qin J, *et al.* Dev Dyn., 2007; 236(3): 810-20  
Perilhou A, *et al.* Mol Cell Biol., 2008; 28(14): 4588-97  
Li L, *et al.* Cell Metab., 2009; 9(1): 77-87

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jul 30, 2009